

中国における環境分析事業に関する包括的事業提携に合意 ～ 中国での住宅、自動車向け環境分析事業開始～

三菱化学株式会社

三菱化学株式会社（本社：東京都港区、社長：小林 喜光、以下「三菱化学」）は、グループ会社である株式会社三菱化学アナリテック（本社：三重県四日市市、社長：土橋 幸二、以下「MCAT」）及び三菱化学（中国）商貿有限公司（本社：中華人民共和国上海市、総経理：園田 孝一、以下「三菱化学商貿」）を通じ、中国賽宝實驗室（本社：中華人民共和国広東省広州市、総裁：孔 学東、以下「CEPREI」）と中国における環境分析事業に関する包括的事業提携に合意いたしました。（MCAT、三菱化学商貿及びCEPREIの詳細については、別紙の通りです。）

近年、中国では環境問題や製品の安全性への関心が高まっており、関連する環境分析市場が急激に伸びております。特に住宅、自動車に関する分析については、景気対策にも後押しされ需要が伸びていることに加え、環境規制関連法による規制強化の影響もあり、そのニーズが高まっており、中国の環境分析事業の中では、比較的新しい分野であるため今後の大きな成長が見込まれます。

MCATは、日本において、10年以上にわたりシックハウス症候群対策として、財団法人ベターリビング（以下「BL」）と測定バッジ法環境分析システム（注1）（以下「バッジ環境システム」）を展開する等、VOC（注2）分析を含む環境分析事業を展開してまいりました。一方、CEPREIも今日まで中国工業情報化部と中国環境保護部の関係機関の一つとして高い分析基礎技術をもち、とりわけ電子・電機製品の信頼性試験や重金属分析等を中国において展開してまいりました。

本事業提携により、MCATが持つVOC分析を含む環境分析等に関する高い技術をCEPREIに提供し、CEPREIは、今まで培った分析基礎技術等をベースに提供を受けた技術を利用し、中国現地企業を中心に成長の見込まれる住宅や自動車等の環境分析事業を展開いたします。また、三菱化学商貿がCEPREIと代理店契約を締結し、今まで培った営業ノウハウ等を活かしながら中国現地日系自動車企業を中心に新たに環境分析事業を展開いたします。

既に、バッジ環境システムは、BLと長年のパートナーである中国建築標準設計研究院（以下「CSD」）が日中共同プロジェクトとして中国で推進している日中技術集成型健康住宅の室内環境分析に採用されることが内定しており、CSDの推奨を受けた上で、CEPREI及び三菱化学商貿が中国全土へバッジ環境システムを展開することを予定しております。

今後は、中国における当該環境分析事業を本年10月に開始し、事業の拡大を図ってまいります。

注1 バッジ形状をした特殊吸着カートリッジを住居に設置し、吸着捕集したVOC成分を分析する事で住居内の空気汚染の状態を容易に測定する方法

注2 Volatile Organic Compounds（揮発性有機化合物）の略
特に、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の成分はシックハウス症候群の原因物質とされている。

以上

< 中国賽宝實驗室概要 >

売上高 60億円(2008年12月期)

主要事業 電子・電気製品の信頼性試験、耐久試験、重金属分析、化学分析等

従業員数 1,000名

< 株式会社三菱化学アナリティック概要 >

売上高 73億円(2009年3月期)

主要事業 環境分析、環境コンサルティング、応用分析、分析・計測機器の開発・製造・販売・メンテナンス

従業員数 501名

< 三菱化学(中国)商貿有限公司概要 >

売上高 50億円(2008年12月期)

主要事業 卸売・コミッション代理(有機・無機化学品、化学加工設備)・商品及び関連する技術の輸出入、技術サービス・アフターサービス他

従業員数 60名

【問合せ先】

三菱化学株式会社 広報・IR室

TEL: 03-6414-3730